

## 青年・女性委員会

## 第32回中央委員会を開催



12月3日、北九州市内において青年女性委員会第32回中央委員会を開催し、今後の活動方針が満場一致で可決されました。委員会を代表して挨拶に立った鈴木議長は、「コロナ禍では多くの制限があり不便を強いられているが、感染防止対策を万全とし体調管理を整えてほしい。これから輸送障害が頻発する冬季に入る。労災・事象発生リスクが高まるが、安全最優先の行動を現場において共有して頂き、組織については、引き続き鋭意な取り組みをご協力願いたい」等々を述べられました。来賓としてJR連合青女沖島議長、貨物鉄産労九州地本田代委員長にお越し頂き、各々より、安全・組織・政策・政治・国内・世界情勢等についてのご挨拶を頂いたあと、執行部より、スローガン(案)・経過報告・今後の活動方針(案)・新役員体制について提起し、質疑応答では、女性の待遇改善・安全問題・組織課題・2022年末手当・2023春闘等、多くの質疑が出され、執行部による集約答弁後、委員会アピールを採択しました。

最後に、石塚新議長による「団結ガンバロー」により締められ、次期活動がスタートしました。



沖島議長



田代委員長

